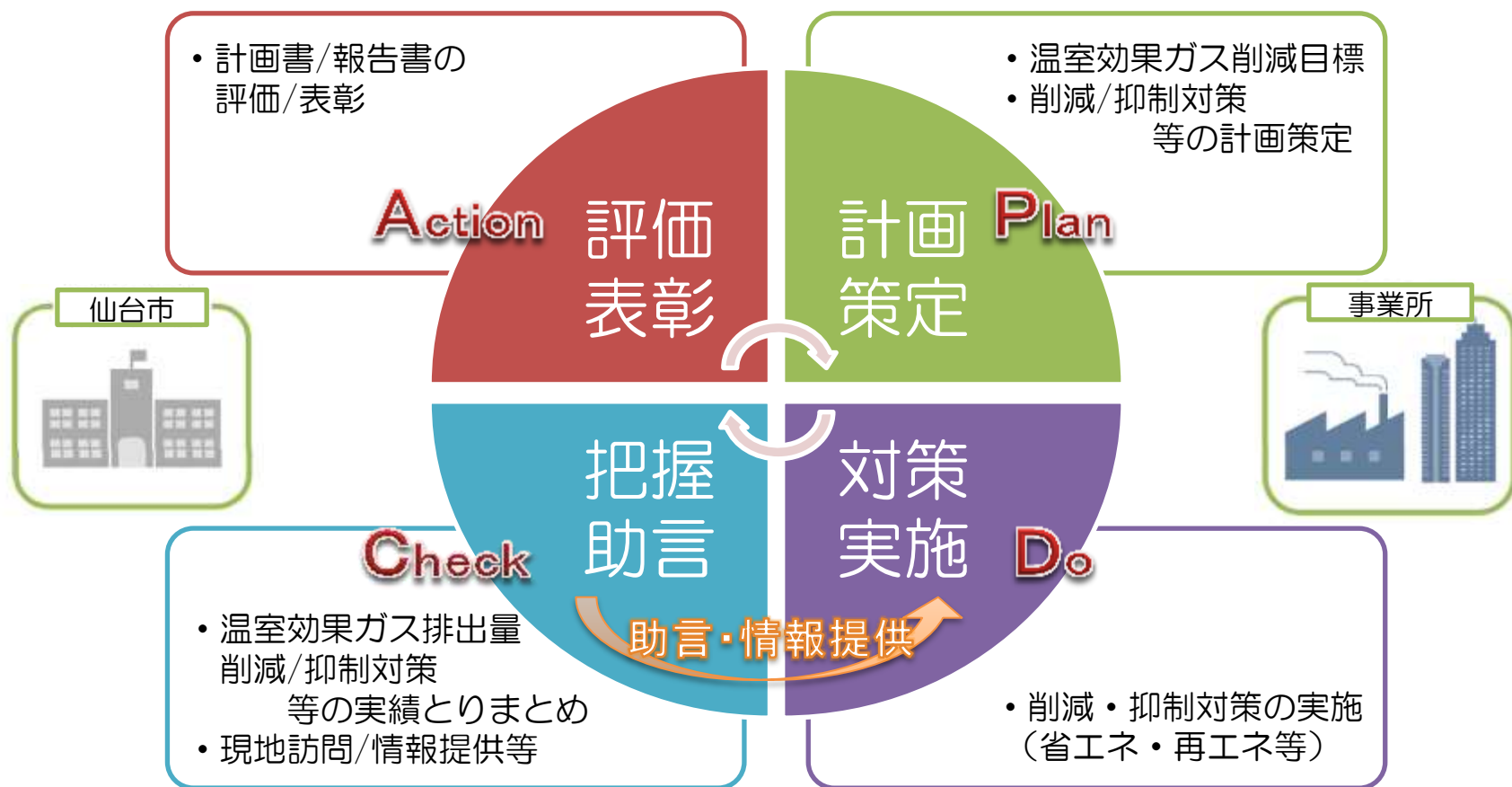


温室効果ガス削減計画書制度モデル事業の 取り組み状況と今後の進め方について

1. 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業の概要

(1) 温室効果ガス削減計画書制度とは

- 事業所と行政が協働して温室効果ガス削減を目指す仕組み



1. 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業の概要

(2) モデル事業のねらい

- 先行事例では、制度骨格の違い等により様々な課題が見られる

課題

- 書類作成の負担が大きい
- 既に行っている以上の取り組みが思いつかない
- 事業拡大しながらの削減は難しい
- …

負担を減らす方法は？

業種や設備に応じた
取り組みとは？

事業者の取り組み意欲向上に
有効な方策は？

など

モデル事業を通じて課題解決が必要

1. 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業の概要

(3) モデル事業の参画事業所

- 10事業所が参画して実施


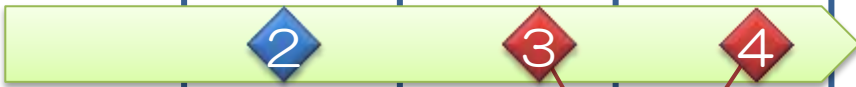
参画事業所

- キリンビール(株) 仙台工場
- 日本ファインセラミックス(株) 本社工場
- 河北新報印刷(株) 印刷センター
- (株)藤崎 本館
- 仙台ターミナルビル(株) エスパル仙台店・ホテルメトロポリタン仙台
- 東北電力(株) 本店
- 東北大学 工学研究科
- 宮城県庁舎
- 仙台市立病院
- 仙台市中央卸売市場 食肉市場

2. モデル事業での取り組み状況

(1) これまでの経過

- 平成28年10月以降、参画事業所は計画を策定し、対策を実施
- 市は定期的な訪問により、設備や対策の実地調査や意見交換を実施

	平成28年度		平成29年度			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
計画の策定						
対策の実施						

外部専門業者が同行し、
アドバイスや情報提供を実施

2. モデル事業での取り組み状況

(2) 計画の策定（平成28年10月～12月）

- 市が提示した計画書様式に以下の項目を記入
 - 事業所の概要
 - 温暖化対策推進の方針、推進体制
 - 実績値と目標値
 - 削減対策の実施計画 など



- 書類作成負担軽減のため、省エネ法の報告書からの読み込みツールを準備

2. モデル事業での取り組み状況

(2) 対策の実施①（平成29年1月～3月）

- 計画書の記載内容について意見交換、設備確認を実施
 - 目標値設定の考え方
 - 今後取り組む予定の削減対策 など
- これまでに実施した効果的な対策事例の収集



削減対策の実施状況確認から

- 市側で提示した削減対策リストの項目追加や細分化が必要

2. モデル事業での取り組み状況

(2) 対策の実施②（平成29年4月～9月）

- 外部専門業者が同行しヒアリング、削減対策への助言
 - 事業所の詳細（エネルギー使用状況、所有設備・台数など）
 - 削減対策への取り組み方針、課題 など
- 削減対策の実施状況確認





これまでのヒアリングや現地確認結果から

- 事業所毎に調査報告書を作成し、アドバイスや情報提供
- 市ホームページで事業所毎の取組事例を紹介

3. 今後の進め方

(1) モデル事業のとりまとめ（平成29年10月～平成30年3月）

	平成29年度		取り組み内容
	10～12月	1～3月	
実績とりまとめ (平成28年度分)			対策実施状況や排出量をとりまとめ、報告書を作成
モデル事業総括			制度の仕組みや運用の課題と解決方法等のとりまとめ

3. 今後の進め方

(2) 制度導入に向けた検討（平成30年4月～）

- モデル事業の総括から、仙台ならではの枠組みを検討
- 平成29年度分実績をとりまとめ、モデル事業の効果を検証



モデル事業の結果も踏まえ、環境審議会での審議を予定

	平成30年度		
	4～6月	7～9月	10～12月
制度枠組の検討			
実績とりまとめ (平成29年度分)			
環境審議会での審議			